

新垣(具志川中)初の栄冠

沖縄女子ゴルフ 最終日

ゴルフの第34回沖縄女子選手権最終日は25日、沖縄(具志川中)がイーブンパCC(5493ヤード、パー70)で行われた。初日は

差の2位は金城和歌奈(西崎中)、3位は通算6オーバーだった。

作戦変更が奏功 新垣

上位4人が中学生と、高さを見せた戦いだった。中でも、通算4オーバーに抑えた新垣比菜が安定したプレーを展開。年齢制限のない大会では、自身初となる優勝を決めた。

初日は「攻めるゴルフ」を展開したものの、ノーバディーと空回り。「入らなくてもいい。最終日は確実に距離を詰めよう」と、作戦を練り直した。これが功を奏し、5番(パー4)ではピン横わずか30センチ寄せ、パーディ1。8、12番はボギーをたいたが、17番(パー3)では約10メートルのスライスラインを読み切り、パーディーを沈めた。

最終ホールはリーダーボートの一番上に自分の名前があるのに気付き「まさか」と思って緊張したが、落ちて5連覇したい」と意欲満ち着いてパーパットを決めた。

や藍さんのような、世界に通用するゴルファーになりたい」と目を輝かせた。(仲本文子)



17番 約10メートルのロングパットを沈める新垣比菜。25日、沖縄CC(金長孝矢撮影)

選手	最終	通算	スコア
新垣比菜	45	49	3
金城和歌奈	46	50	4
...



17番、ティーショットを放つ金城和歌奈

2位金城 勝負強さ

○：初日は首位と3打差の5位だった金城和歌奈。最終ラウンドはラスト2ホールの連続パーディーを奪うなど、勝負強さを見せた。

1番(パー4)でいきなりパーディー。「いい出だしだと思った」が、4番(パー4)でバンカーにかまひ、痛恨のトリプルボギー。後半もボギーを三つたたき、それでも「来年は優勝したい」と表情を引き締めた。

ピン奥約20ヤードからチップインパーディー。最終ホールも約3メートルのパーディーパットを意地で沈めた。